

主 な 取 組	人権の啓発						担当課	自己評価
							学校教育課	A
取 組 状 況	人権の啓発、人権教育の推進。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	①時代にあった人権教育・啓発活動への取組 ②指導者の人材確保と参加者の促進							
令 和 5 年 度 実 績	事業を継続し、内容の充実を図った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 人権作文への取り組み率				【説明】 人権作文に取り組んでいる学校数により、人権啓発活動の充実度を判断します。			
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		100	平時	平時				100
		R 2 有事	100	100				R 8 有事
		100						—
自 己 評 価 の 主 な 理 由	事業内容を計画通り実施することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

※ 「平時」「有事」とは

本点検・評価報告書における平時とは、with コロナで、様々な制約を受けながらも、日常生活を取り戻しつつある状態を想定しています。有事とは、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発出され、施設を休館する等、通常の事業ができない非常事態を想定しています。現状値の令和元年度は、年度末にコロナの影響を受けましたが平時とし、令和2年度を有事としています。平時における令和8年度の目標値は、令和8年度まで平時が続いた場合を想定し、有事における令和8年度の目標値は、令和8年度まで有事が続いた場合を想定しています。

また、有事においても、目標値に影響が無い場合は、「—」としています。令和3年度以降に、新規に開始した事業等で、令和2年度以前の現状値を示せない場合は、指標に「新規」と表記し、現状値を「—」としています。

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (1) 人権施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主 な 取 組	人権教育の推進						担当課	自己評価
							社会教育課	B
取 組 状 況	<p>人権問題に関する講演会や講座を通して、広く市民に人権感覚を養い、問題解決のための学習機会を提供している。5 公民館で人権啓発講座を、3 公民館で夏休み人権映画会を開催した。人権教育推進事業として、小中学校PTAが実施している家庭教育学級のテーマに、人権問題を取り上げた。また、学校・PTA・公民館が今年度の人権教育の取り組み事例報告書を作成した。</p>							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	<p>人権問題に関心が低い方や人権に難しいイメージを持つ方に対する、人権教育のアプローチや事業の周知方法について課題が残る。</p>							
令 和 5 年 度 実 績	<p>夏休み人権映画会 3回実施 延べ85人 人権啓発講座 5回実施 延べ83人 人権問題講演会 136人参加 PTA 家庭教育学級 2PTA 延べ60人</p>							
指 標 及 び 説 明	【指標】 人権問題に関する講演会、講習会の参加者数				【説明】 人権問題に関する講演会、講習会の参加者数			
	単位	現状値	実 績 値					目標値
指 標 の 推 移	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		726	平時	平時				800
		R 2 有事	395	364				R 8 有事
		315						400
自 己 評 価 の 主 な 理 由	<p>人権問題講演会は人権推進課と共催で実施し、PTA 家庭教育学級からの参加者を集めることができた。また、夏休み人権映画会では、公民館近くの学童保育室の児童の参加で、夏休み事業の一つとすることができた。</p>							
課 題 及 び 改 善 点	<p>参加者の対象を広げ、より身近に感じられるような事業内容を提供できるようにする。また、人権推進課との連携を進める。</p>							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施策	(1) 人権施策の推進			
施策評価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	人権の啓発	学校教育課	A	A
人権教育の推進	社会教育課	B		
学識経験者意見等	<p>全般的に、施策や事業の達成度、進捗が順調であると感じました。人権は、すべての人が生まれながらにして持っている基本的で普遍的な権利です。入間市では、差別のない社会を築き、市民がお互いの人権を尊重することを目指し、人権教育に関する学習機会の充実に取り組まれていると自己評価から理解しました。特に、「政策1」に「人権教育」が位置付けられ、その「第1項」に「人権の尊重と権利の擁護」が示されていることは、入間市教育委員会が人権を重要視していることを示しています。</p> <p>「人権の啓発」について、入間市内の小・中学校を対象とした人権標語や人権作文への取り組み率が100%であることは、大変評価されます。この取り組みにより、児童生徒は人権を守るために個人や集団としての責任を理解し、社会的な変革や改善に積極的に関与する機会が保障されると考えます。また、令和5年6月23日に公布・施行された「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」についても、性的マイノリティ等の現代的な課題に適切に対応しつつ、事業の継続を丁寧をお願いいたします。</p> <p>「人権教育の推進」につきましては、昨年度に引き続き夏休み人権映画会の開催、人権啓発講座、人権問題講演会が実施され、開催回数、参加者数が示され、わかりやすい自己評価となっております。参加者数の伸び悩みが感じられますが、人権問題講演会を人権推進課と共催する等の工夫が見られます。このような学校教育のみならず市民に向けた講演会、研修会の実施は有効であると考えます。課題は残っていますが、引き続き地道に事業を丁寧に進めていただくようお願いいたします。</p>			

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

【施策】 (2) 平和施策の推進

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 1 1

主な取組	平和意識の高揚		担当課	自己評価				
			学校教育課	A				
取組状況	「平和を願う講演会」の開催。							
前年度の課題・改善点	事業を継続し、内容の充実を図る。							
令和5年度実績	市内全中学校（11校）で「平和を願う講演会」を実施。							
指標及び説明	【指標】 平和に関する講演会の実施		【説明】 「平和を願う講演会」の学校の実施率により、平和意識の高揚度を判断します。					
指標の推移	単位	現状値	実績値			目標値		
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		100	平時	平時				100
		R2有事	100	100				R8有事
	0						—	
自己評価の主な理由	計画通り、実施できた。							
課題及び改善点	事業を継続し、内容の充実を図る。							

【施策の体系】 1 人権教育

【政策】 第1項 人権の尊重と権利の擁護

施 策	(2) 平和施策の推進			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	平和意識の高揚	学校教育課	A	A
学 識 経 験 者 等 意 見	<p>自己評価が「A」であり、施策、事業の達成度、進捗が順調であると拝見しました。</p> <p>「平和意識の高揚」につきましては、市内全中学校において「平和を願う講演会」が開催されたことが評価されます。現在、ロシアによるウクライナ侵攻がなされていますが未だ解決されておられません。また昨年よりイスラエル・パレスチナの紛争が勃発するなど、世界各地で今なお多くの方が犠牲となっています。児童生徒に対して、平和意識と共に国際社会やグローバルな出来事への関心を醸成することが重要となります。児童生徒が世界の出来事について理解し、市民としての責任を果たせるような促しが今後も必要であると考えます。</p>			